

令和5年度 第1回島田市博物館協議会 議事要録

日 時 令和5年7月26日（水）10:00～11:30
場 所 島田市博物館本館 整理工作室（1階）
出席者 【委員】小長谷委員、法月委員、前原委員、平野委員、青木委員、小林委員、田口委員
※欠席：杉山委員
【事務局】博物館課 松下館長、朝比奈学芸員、曳地学芸員、大石学芸員、加藤係長
※傍聴者なし

1 開会（10:00）

2 委嘱状の交付

- ・委嘱状 小長谷氏ほか計6人
- ・会長副会長の選出 会長：小長谷 晃 氏 副会長：前原 満夫 氏
- ・会長挨拶 島田市博物館は、子供たちが頻繁に出入りするような施設になってもらいたい。当協議会は、博物館法に定められた会で、委員一人ひとりが立ち位置を再認識し、活発な協議の場としたい。宜しく、お願いいたします。
- ・副会長挨拶 宜しく、お願いいたします。

- 3 松下館長挨拶 本年4月より博物館課長となりました松下です。よろしくお願いいたします。
コロナ状況下で、博物館の置かれている状況は大きく変化しました。本年施行された70年ぶりの博物館法の改正。これは、文化芸術基本法の趣旨を踏まえている他、デジタルアーカイブ化や、地域の多様な主体との連携等の内容が盛り込まれています。当館は、昨年、開館30周年を迎えました。本年度も企画展等を充実させるほか、本館の目的でもある川越遺跡の紹介を図っていきたいと思います。また、現在、一部機能不全であります常設展の改修にも取り組んでまいります。

4 議事

(1) 報告事項

① 令和4年度事業報告について

- ア. 入館者数及び観覧料収入 （事業実績報告 1）
- イ. 講座・体験学習等の開催実績 （事業実績報告 2）
- ウ. 企画展及び収蔵品展の実績 （事業実績報告 3）

◆質疑

【委員】 分館の展示で「笠のある風景」は、版画だけでなく、物を展示するのは面白かった。

新鮮であった。今後も、努力・発掘をお願いしたい。

【委員】 観覧者数は、前年比較で、新型コロナの影響が大きかったと思うが、コロナ前との比較ではどうか。前年比で増となっているが、まだ心配である。

【事務局】 説明では、令和元年度との比較をさせてもらっているが、回復に至っていないのが現状です。令和4年度実績を見ると、有料観覧者数は減少していますが観覧料収入は増えていますので、団体客数が減り、個人の観覧者が増えたと考えており、個人利用は徐々に回復傾向ですが、団体利用が未だ回復していないと分析しています。自然な回復に安心せず、企画展の内容等を考えていかなければと考えます。

【委員】 一日平均入館者数（資料P4. P5 「3 令和4年度 展示開催実績」）は、比較するのに分かりやすく良い。本館の昨年度の7月から9月の企画展（嶋田の大祭）中の人数と比較し、同期間の分館の人数は少ないことから、暑い時期には分館への徒歩移動が敬遠される印象です。分館駐車場に気軽に駐車できる案内が必要。分館の展示名（コピー）が大好きで、興味深く見えています。

【委員】 NHK「どうする家康」にちなんだ「諏訪原城」展やNHK「ブラタモリ」の放送などの効果が期待されるが、令和5年度の上半期の観覧者数の状況は、いかがか？

【事務局】 現在、NHKの「歴史探偵」・「知恵泉」等、各番組からも取材を受けている状況があり、「諏訪原城」展のポスター・チラシをJR静岡駅・浜松駅に掲示・配架するなどし、市外からの観覧者があります。徐々に団体客も増加傾向です。全国的に観光客の増があり、大きな動きではありませんが、島田市博物館の観覧者数が戻りつつある感触があります。PRができることは進め、本来的な展示の内容を充実していきます。

【委員】 （展示の中で）展示観覧の後に、何か一つ心に残る展示品があると良い。令和4年度の川越し人足の展示の刺青の浮世絵や、今回の、チベットのヤクの毛を使った諏訪法性兜（すわほっしょうかぶと）も印象深かった。広報も改善され、LINEの配信等、博物館情報の閲覧が速やかになり、またSNSによって簡単に配信されつつあると感じる。

【会長】 令和4年度の「源頼朝公像」展の展示技術に関心した。
博物館実習生受入は？、市内・県内の学生の内訳は？

【事務局】 実習生の受け入れは、毎年、市HPで市内・県内を問わず募集していますが、県内の学生が多い状況です。

② 令和5年度展示及び事業計画について

- ア. 博物館本館・分館展示 （「島田市博物館展示スケジュール」・展示計画）
- イ. 講座・体験学習等 （「しまはくワークショップ」講座のご案内2023）

◆質疑

無し。

(2) 協議事項

- ① 令和6年度本館・分館展示計画について (博物館本館展示計画 (案))
(博物館分館展示計画 (案))

◆質疑

【委員】 分館（日本家屋）の展示計画の説明で、東北などの遠方からのお客様とあるが、状況を知りたい。

【事務局】 海野光弘のファンは全国的に存在し、分館では、アンケートやお客様の声を聞く機会に、海野光弘の作品観覧を目的とした、九州や東北などからの来館であるとの状況を把握しており、せっかくの遠方からのお客様の為、展示が無い期間を無くすよう配慮しています。

【委員】 海野光弘の作品は他館でも所蔵しているのか、また海野光弘作品の企画展を、他館でも行っているのか？

【事務局】 海野光弘の作品をまとめて所蔵しているのは、島田市博物館のみです。豊橋市の二川宿本陣資料館や、静岡市内でも企画展が開催され、当館収蔵品を貸出ししています。

【会長】 本館の「昭和のおもちゃ・遊び道具」展（平野コレクション）の開催趣旨は何か？

【委員】 各収蔵品には、著作権の問題もある。学芸員として扱うには、展示方法や研究対象として難しい展示品だと思っている。腕の見せ所として、期待しています。

【委員】 「なつかしい」には、思い出があると思う。例えば「広報しまだ」で、3点ほど選んだ展示品に対する思い出を募集し、本人写真とともに展示するのは如何か？

【事務局】 検討いたします。

② 博物館展示施設改修事業について

【事務局】 博物館本館は、開館から30年以上を経過し、施設・設備の老朽化が進む中、これからの時代に相応しい、最新の技術を応用した、常設展示へと改修することとしたいと考えております。

本年度は、「島田市博物館常設展示施設改修等設計業務委託」の名称で、550万円を予算化しており、今後、募集要項・業務仕様書を定め、公募のプロポーザルの方法によりまして受託業者を決定し、来年2月末までに「詳細設計」を行うことを検討しております。

【事務局】 補足で説明します。博物館展示施設改修事業につきまして、2年前に一度公募型プロ

ポーザルで、常設展示を全面リニューアルすることで募集しましたが、その際、川越街道全体を賑わい創出することで、宿泊施設などを含め文化財の保存を進める中、民間の力を活用して進める話がありました。しかし、それとの整合が未調整であったため、公募したものを取り下げ、調整を再度図っていかうという経過がありました。昨年度、川越遺跡は国指定史跡であるため、開発には国の許可が必要で、民間のスピード感と史跡保存の兼合いがとれないことから、民間サイドから事業実施が難しいとの回答を得ることとなりました。

市の計画は変わりませんが、実施計画書上、川会所の移転に約2億円、博物館の常設展改修に約1億2千万円を想定し、地区全体への投資金額が大きいことから、民間の動向も不確定の中、内部検討を行いました。

検討では、機能不全となっているところ（ジオラマ）の改修と展示の方法の見直しという、必要な部分を適切に改修し、展示に関する課題解決をするという方針を考えています。

また、協議会委員の皆様から随時ご意見を頂きたく、また、当会からどなたかをお願いし、プロポーザルの審査にご参加いただきたく思います。

◆質疑

【委員】 以前からの課題で、収蔵庫の充実も検討願いたい。

【事務局】 全国的に、収蔵庫が満杯の状況と考えています。当館の収蔵庫は、旧仕様での設計であるので、改善余地があります。また、収蔵庫は博物館の心臓部であると認識しています。但し、構造的な改築は大きな費用を要するため、収蔵庫内の整理方法や什器にて改善していきたいと思えます。

【委員】 ジオラマ（常設展）の改修は、今回の設計業務委託の550万円の予算に含まれるのか？

【事務局】 設計では、現在の機能不全エリア（ジオラマ）を含む、常設展全体の改修とする予定です。どのように改修するかが業者の技術であると考えます。メタバース空間との連動や、収益を得られるNFT技術も検討されます。ジオラマの改修も目的ですが、改修方法は検討課題であると思っています。

【委員】 ジオラマ（常設展内）の改修のみに留まらないとのこと、安心した。

※事前にあった、委員からのご意見への回答。

【委員】 観覧者数の有料・無料の割合はどうか？

【事務局】 令和4年度実績では、資料の1ページ、「1 観覧者数及び観覧料収入」のとおり、本館・分館計で、29,247人の内14,965人（51.2%）が免除されており、元来無料である中学生以下の観覧者を除くと、23,266人の内、8,984人（38.6%）が免除されています。中学生以下を除いた内訳は、障害者及び介護者が1,207人であったほか、年4日（5月・8月・11月・2月）の無料開放日の入館者が3,621人であったこと、さらに令和4年

度には12月の「源頼朝公像展」の特別展示により2,708人が免除であったことほかに
よります。令和4年度の、大人の免除対象者数は、12月の特別展示を除くと6,276人（大
人の年計20,558人に対し、30.5%）が免除されています。

参考に、令和3年度は、中学生以下を除いた大人の観覧者数の年間計20,006人に対し、
5,199人（26.0%）が免除されており、年間4日の無料開放日の大人の観覧者数が免除
者数の増減に反映されているものと分析しています。

【委員】 (1) 報告事項 ② 令和5年度展示及び事業計画について イ. 講座・体験学習等
について、博物館講座の3月上旬の「初めての着付け教室」では、着付けに加え、川
越し街道を散策してもらうような企画を加えては如何か？

【事務局】 御提案、有り難うございます。検討させていただきます。

5 その他

・次回開催日について

仮) 日時：令和5年11月15日（水）午前10時00分～

会場：島田市博物館本館 整理工作室

6 閉会（11:30）